

# YCC県民文化ホール 新型コロナウイルス感染拡大予防 施設利用者用ガイドライン&チェック表 - 大小ホール -

2020年10月1日版

- 当面2020年11月末までのご利用分とします。
- 下記対策に関して不備が見られた場合は、ご利用を中止して頂く場合もございます。

団体名	
利用日時	年 月 日 ( ) 時～ 時
利用施設	大ホール ・ 小ホール ・ 会議室 ・ リハーサル室 練習室 ( 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号 )

※館内の換気能力を高めるため、室温調整が十分に行われなことがございます。ご了承ください。

(1)収容率	① 大声での歓声・声援等がないことを前提とする催し物 収容率100% ----- ② 大声での歓声・声援等が想定される催し物 収容率50% 異なるグループ(又は個人)間では座席を1席は空けることとし、同一グループ(5名以内に限る。)内では座席等の間隔を設けなくても良い。 ----- ※催し物の区分詳細は、《添付資料1》参照	□
(2)確認書の提出	・ 定員の50%を超えるイベントを開催する場合は、『開催に係る確認書』を提出してください。	□
(2)マスクの着用	・ 公演関係者(演者は舞台上を除く)、観客のマスク着用を徹底してください。	□
(3)飛沫感染予防の取り組み	・ 大声による歓声、声援がないようにしてください。 ①大声を出す者がいた場合、個別に注意、対応等ができるよう体制を整備してください。 ②演者が発声する場合には、舞台から観客の間隔を2m以上確保してください。	□
(4)手洗い・消毒の徹底	・ 公演関係者の手指消毒を徹底し、観客へのこまめな消毒、手指消毒を促してください	□
(5)密集の回避	・ 入退場時や休憩時間(お手洗い等)の密集を避けるよう取り組んでください。	□
(6)飲食時の予防	・ 飲食時の感染防止策を行ってください。	□
(7)公演関係者/観客の制限	・ 入場時の検温、体調確認を行い、感染の疑いがある人の参加は控えてください。また、入場を断る方に対し、払い戻し等の対応方法を決めてください。 ①発熱があり検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合 ②咳・咽頭痛などの症状がある場合	□
(8)参加者の把握	・ 感染が確認された場合に備え、参加者の連絡先を把握してください。 接触確認アプリ(COCoA)の利用を促してください。 こうした情報は、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。	□
(9)演者、観客の接触/飛沫感染の防止	・ 入待ちや面会等は控えるよう呼び掛けてください。	□
	・ 余裕を持った休憩時間を設定し、トイレなどの混雑の緩和に努めてください。	□
	・ 稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるようにしてください。	□
	・ 対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽してください。	□
(10)名簿等の保管	・ 個人情報の保護の観点から名簿等の保管には十分な対策を講ずるようにしてください。	□

感染が疑われる者が発生した場合の対応	①感染が疑われる者が発生した場合、自家用車など、速やかに館外へ隔離を行ってください。 ②保健所へ連絡し、感染が疑われる者・公演関係者・来場者について指示を受けてください。 ③保健所へ相談した結果をホール職員にお知らせください。 ④対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底してください。
--------------------	---

《添付資料1》

YCC県民文化ホール 新型コロナウイルス感染拡大予防

催し物の区分詳細 例

下記は例示であり、実際のイベントが下記のいずれに該当するかについては、大声での歓声・声援等が想定されるか否かを個別具体的に判断します。

大声での歓声・声援等がないことを前提としうるものの例	大声での歓声・声援等が想定されるものの例
音 楽	音 楽
クラシック音楽(交響曲、管弦楽曲、協奏曲、室内楽曲、器楽曲、声楽曲等)、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲 等のコンサート	ロックコンサート、ポップコンサート 等
演 劇 等	公 演
現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス 等	キャラクターショー、親子会公演 等
舞 踊	
バレエ、現代舞踊、民族舞踊 等	
伝統芸能	
雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦舞 等	
芸能・演芸	
講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術 等	
公演・式典	
各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、タウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式 等	

# YCC県民文化ホール 新型コロナウイルス感染拡大予防 各施設の定員一覧

2020年10月1日版

施設名		面積	収容人数		
			100%の催し物	50%の催し物	
大ホール	客席	—	2000席	主催者+参加者+観客 あわせて1000人まで	
	楽屋	1号	49.0㎡	15人	7人
		2号	73.5㎡	20人	10人
		3号	24.5㎡	5人	2人
		4号	24.5㎡	5人	2人
		5号	24.5㎡	6人	3人
		6号	49.0㎡	25人	12人
		7号	49.0㎡	25人	12人
		8号	50.4㎡	25人	12人
小ホール	客席	—	700席	主催者+参加者+観客 あわせて350人まで	
	楽屋	9号	23.1㎡	6人	3人
		10号	46.2㎡	13人	6人
		11号	94.5㎡	20人	10人
		12号	23.1㎡	6人	3人
		13号	94.5㎡	25人	12人

施設名		面積	収容人数	
			100%の催し物	50%の催し物
会議室		257.0㎡	(座席) 96席	48人
リハーサル室		243.0㎡	150人	75人
練習室	1号	42.0㎡	24人	12人
	2号	98.0㎡	60人	30人
	3号	42.0㎡	24人	12人
	4号	42.0㎡	24人	12人
	5号	98.0㎡	60人	30人

## ～ コロナ禍における舞台での感染拡大防止についてお願い ～

### ●舞台上

- 1 国や県の基本方針を踏まえ、各団体上部組織のガイドラインを参考にして舞台上での演出を構成した上で、全舞台関係者に周知して下さい。
- 2 袖で待機する出演者は、一度に多人数が密集・密接することなく、時間差を設けるなど工夫をして下さい。
- 2 出演者は待機時間も含め演技中においても状況に応じてマスク着用等の可能性を検討して下さい。
- 3 ダメ出しや作業指示に当たっては大声を出さず、マイク、インカム、掲示物を活用して下さい。
- 4 管楽器から出る水蒸気の滴を床に垂らさないで下さい。  
(空気中に放出される飛沫よりも楽器内にたまった飛沫を含む結露水を適切に処理することが重要です)
- 5 客席の最前列席は舞台前から十分な距離を取って下さい。
- 6 搬入、仕込み、片付け、搬出の際は大声を出さず、十分な時間を設定し感染対策を講じて下さい。
- 7 楽屋口やホワイエで入待ち・出待ちをさせないで下さい。
- 8 集合写真では撮影直前までマスク等を着用し、外したら会話を控えて下さい。
- 9 感染拡大の予防措置が図られない場合、公演実施の可否について審議し、中止すべきとの決断に至る場合もあります。

### ●マイク（ホール備品）

- 1 マイク管理担当者を配置して下さい。
- 2 マイク使用の前後には、各々手洗い/手指消毒を行って下さい。
- 3 舞台上で使い回しを極力しない演出を構成して下さい。
- 4 使い回す場合は本体を消毒後に次の人に渡す、またはスタンドを使用して下さい。
- 5 予算の都合で本数を増やせない場合、舞台全体を集音するマイクもあります。

### ●その他の機材（ホール備品）

- 1 ホール機材(照明卓やミキサー、ピンスポット、CDプレーヤー等)は取扱者を限定し、使用前後に機材の消毒と手洗い/手指消毒を行って下さい。

### ●ピアノ

- 1 演奏者は各々演奏前に手洗い/手指消毒を行って下さい。
- 2 ホールでは消毒済みのピアノを貸し出します。
- 3 演奏中は利用者が判断して鍵盤等の消毒をお願いします。
- 4 その方法はピアノクロスを水で濡らし 固く絞ってから水拭きをした後、乾拭きをして下さい。  
(アルコール類は厳禁です。次亜塩素酸ナトリウム溶液や台所用中性洗剤溶液、鍵盤専用クリーナーは悪影響はありませんが、ホールのピアノには使用しないで下さい)